



むらかみ かずお  
村上 和夫 1952年5月8日生

## 学 歴

- 1971年3月 立教高等学校卒業  
1975年3月 立教大学社会学部観光学科卒業  
1975年4月 立教大学大学院社会学研究科応用社会学専攻修士課程入学  
1978年3月 同修了，社会学修士

## 職 歴

- 1980年4月 萩女子短期大学助教授（至1982年3月）  
1982年4月 横浜商科大学商学部貿易・観光学科（専任講師・助教授・教授 至1996年3月）  
1996年4月 立教大学社会学部観光学科・大学院社会学研究科 教授  
1998年4月 立教大学観光学部観光学科・大学院観光学研究科 教授  
2005年4月 立教大学アミューズメントリサーチセンター（RARC），センター長  
2006年4月 立教大学観光学部交流文化学科 教授  
2009年4月 立教大学観光学部長，大学院観光学研究科委員長，立教学院評議員  
2013年4月 学校法人立教学院理事  
2018年3月 立教大学退職

## 学会活動

- 日本観光ホスピタリティ教育学会，会員，会長（2012～2013）評議員  
日本観光研究学会（旧日本観光研究者連合），会員，会長（2014～2015）評議員

## 社会的活動等

- 公益財団法人日本交通公社理事

## 海外における研究教育活動等

- University of Calgary, Rotterdam School of Management, Erasmus University, Università Ca' Foscari Venezia, National University of Laos

## 主要学術業績（いずれも抜粋）

### 著作

- 村上和夫（1978）「観光開発」，前田勇編著（1978）『観光概論』学文社。  
村上和夫（2000）「農村観光における「無限な思い出のごときもの」についての考察」，横浜商科大学公開講座編（2000）『21世紀へのツーリズム：国際的異文化交流のあり方をもとめて』南窓社。  
村上和夫（2007）「序章，観光地を磨くセンスアップの技術革新」[第5章シンポジウムの要約と事例のアーカイブ] 他，村上和夫，安島博幸，下村彰男，熊谷圭介（2007）『観光地を磨くセンスアップのイノベーション』観光プロジェクト研究叢書 No.1，立教大学アミューズメントリサーチセンター

村上和夫 (2009) 「アミューズメント研究を考える」, 村上和夫・河東田博・長田佳久編著 (2009) 『たのしみを解剖する: アミューズメントの基礎理論』, 現代書館.

Yasue, Eriko and Kazuo Murakami (2012) "Practicing Tourist Landscapes: Photographic performances and Consumption of Nature in Japanese Domestic Tourism" Ed. Minca Claudio and Tim Oakes "Real Tourism: Practice, Care, and Politic in Contemporary Travel Culture" Routledge London.

村上和夫 (2016) 「第 14 講第 1 章 旅行業界が観光の中で果たすべき役割」, 立教大学観光学部旅行産業研究会編 (2016) 『旅行産業論』 公益財団法人日本交通公社.

## 論文

### ○農村観光研究等及び地域観光産業研究

村上和夫 (1978) 「観光開発に伴う地域社会の変容に関する研究」 修士学位論文

Go, Frank and Kazuo Murakami (1990) "Transnational Corporation Capture Japanese Market", *Tourism Management, Butterworth-Heinemann, Vol. 11. No.4.*

村上和夫 (1997) 「グリーン・ツーリズムによる地域振興の問題点—日本における農村観光の形態変化と観光事業の方法の多様化からの位置づけ」 立教大学社会学部応用社会学研究 Vol. 39, pp.75-86.

安島博幸, 村上和夫, 中島勉, 佐野浩祥 (2007) 「能登半島地震にみる避難・救援活動拠点としての観光施設」 日本観光研究学会第 22 回総会併催ポスターセッション.

### ○観光行動の計量的研究

香川眞, 永松純, 米田和史, 越塚宗孝, 角山剛, 村上和夫 (1977) 「労働と余暇に関する実証研究 — 装置産業従業員の仕事と余暇へのモチベーションを中心に —」 立教大学社会学部応用社会学研究 Vol. 18, pp.57-96.

Murakami, Kazuo (1993) Japanese Travellers' Attitude towards Banff and Behaviors of Banff as a Destination: A Conceptual Framework for Understanding Cross-Cultural Tourism in a Destination. TTRA 1993 Annual Conference Proceedings.

### ○観光研究方法論, 「みやげ話」研究, ジャパニゼーション研究

Murakami, Kazuo (1991) "Can Kaleidoscopic Terms be Marshaled in Tourism Research" The University of Calgary, New Horizons: In Tourism and Hospitality Education, Training and Research Conference, Conference Proceedings, pp.77-82.

村上和夫 (2003) 「観光の語りを虚構として分析する方法に関する考察 # 1」 立教大学観光学部紀要 No.5, pp.55-64.

安江枝里子・村上和夫 (2012) 「『日本化 (Japanization)』」の中の訪日観光客: 多様性の中の創造性を発見する旅行者の視点」 第 27 回日本観光研究学会全国大会論文集, pp.1-4.

Yasue, Eriko and Kazuo Murakami (2015) "Rethinking Japanization: A Discourse on Japan from the Perspective of International Tourists" Changing Asian Consumption Patterns and Emerging Dilemmas: 第四届旅游接待業管理國際會議 (New Research Agenda for the Next Practice in Tourism and Hospitality) Conference proceeding, pp.10-13.

## 研究・教育資金等

(2005) 文部科学省 「私立大学学術研究高度化推進事業」

(2008) 経済産業省 「産学連携人材育成事業 (サービス人材分野)」